

兵庫県

兵庫県における精神障害者の 地域移行の推進について

兵庫県では・・・

協議の場を中心に、ピアサポートの活用、研修の実施等、圏域ごとの地域課題に沿った取り組みを行うことで、精神障害者の地域移行に取り組んでいます。

1 兵庫県の基礎情報

兵庫県



取組内容

- 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進事業の活用
- 保健所を中心とした連携体制の整備。
- 関係職員等に向けた研修の実施。
- ピアサポーターの養成、ピアサポートの活用。

基本情報 ※徳に記載の無いものは神戸市を除く

障害保健福祉圏域数（H31年4月時点）		9	か所
市町村数（H31年4月時点）		40	市町村
人口（H31年4月時点）		3,943,548	人
精神科病院の数（H31年6月時点）		24	病院
精神科病床数（H31年6月時点）		7,975	床
入院精神障害者数	合計	7,185	人
（H29年6月時点）	3か月未満（％：構成割合）	1,202	人
		16.7	％
	3か月以上1年未満（％：構成割合）	1,515	人
		21.1	％
	1年以上（％：構成割合）	4,468	人
		62.2	％
	うち65歳未満	1,936	人
	うち65歳以上	2,532	人
退院率（H29年3月時点） ※神戸市含む	入院後3か月時点	71.0	％
	入院後6か月時点	86.0	％
	入院後1年時点	92.4	％
相談支援事業所数 （H31年3月時点）	基幹相談支援センター数	※確認中	か所
	一般相談支援事業所数	※確認中	か所
	特定相談支援事業所数	※確認中	か所
保健所数（R31年5月時点） （自立支援）協議会の開催頻度 （H30年度）		16	か所
	（自立支援）協議会の開催頻度	1	回／年
	精神領域に関する議論を有する部会の有無	有・無	
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況（H31年1月時点）	都道府県有・無	0	か所
	障害保健福祉圏域有・無	9 / 9	か所／障害圏域数
	市町村有・無	15 / 40	か所／市町村数

2

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）
～地域移行・地域定着支援を中心とした取り組み～

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進事業」を活用し、精神科病院と行政、地域援助事業者との連携体制のさらなる強化を図ることにより、精神障害者の地域移行を推進します。

※保健所を中心とし、各圏域ごとに地域の課題に即した事業を実施

(1) 精神障害者地域移行・地域定着連絡会議の開催

(2) 精神科病院職員等に対する研修

(3) 退院支援プログラムの実施

指定一般相談支援事業所等に委託して下記のプログラムを実施。

指定一般相談支援事業所等では、適宜ピアサポーターを養成、雇用して事業を実施。

ア 地域生活報告会

イ 事業所体験プログラム

ウ 精神科病院入院者への退院動機づけ支援

エ 生活訓練プログラム

3

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯
～地域移行・地域定着支援を中心とした取り組み～

年度	概要
H15～	精神科病院、健康福祉事務所、相談支援事業所等により、運営委員会や退院訓練を実施。
H19～	<p>相談支援事業所に委託のうえ、退院訓練、協議会、地域住民研修、院内での地域生活報告会等を実施。</p> <div data-bbox="644 625 1667 803" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px;"> <p>H20～24 健康福祉事務所は地域体制 整備コーディネーターとして位置付け</p> </div>
H27	<p>精神保健福祉センター、精神科病院協会、相談支援事業所に委託。研修会、ピアサポーター研修、事業所養成等を実施。</p>
H28	<p>国庫モデル事業「長期入院者精神障害者地域移行推進事業」実施。</p>
<p>H29.2「精神医療保健福祉のあり方に関する検討会報告書」“精神障害者の地域包括ケアシステムの構築”</p>	
H29～	<p>「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進事業」を活用し精神障害者地域移行・地域定着支援事業を実施。健康福祉事務所を中心に地域課題に即した事業実施。</p>

H23～
ピアサポーターの養成・活用

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

<平成30年度までの成果・効果>

課題解決の達成度を測る指標	当初値	実績値	具体的な成果・効果
①長期入院者数(住民所在地ベース)	6,452人 (H29年630調査)	※精神保健福祉資料公表待ち	※実績値公表後に評価
②退院率(3ヶ月、6ヶ月、12ヶ月)	3ヶ月:65.7% 6ヶ月:82.5% 12ヶ月:89.4% (H28年度NDB)	※精神保健福祉資料公表待ち	※実績値公表後に評価
③ピアサポーターの養成・活用 (※神戸市除く)	養成:22人 活動:69人 (H29年度末)	養成:26人 活動:111人 (H30年度末)	地域移行・地域定着支援の取り組みを中心に、ピアサポーターの活動の場が広がっている。

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴(強み)】

- ・県内全域において、地域移行・地域定着支援に関する連携会議を開催し、連携体制構築に取り組んでいる。
- ・ピアサポートを活用した地域移行支援、地域定着支援の取り組み。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割(取組)	
連携体制や取り組みについて 地域毎の格差がある	・取り組みやノウハウの共有 ・圏域に応じた取り組みの実行	行政	・圏域の課題に応じた事業実施 ・協議の場の設定
		医療	圏域における協議の場への参加 等
		福祉	
		その他関係機関・住民等	

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (今年度当初)	目標値 (令和元年度末)	見込んでいる成果・効果
①長期入院者数	精神保健 福祉資料 公表待ち	6,131人	長期入院者数の減少(地域生活のための資源の充実)
②退院率		3ヶ月:69%、 6ヶ月:84%、 12ヶ月:90%	退院率の増加(新たな長期入院化の防止)
③			

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた今年度の取組スケジュール

時期(月)	実施する項目	実施する内容
R1.5～6月	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域に応じた取り組みの実行 ・取り組みやノウハウの共有 	<p>精神障害者地域移行・地域定着支援事業(「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進事業」に基づいた事業)実施圏域の選定、実施相談支援事業所委託契約締結。</p> <p>以降圏域ごとに適宜実施。</p>
R2.2～3月	・ //	精神障害者地域移行・地域定着支援事業振り返り会の実施